

東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会等に向けた武蔵野市の取り組み

平成31(2019)年に日本で開催されるラグビーワールドカップ2019や、平成32(2020)年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけとして、スポーツ振興はもちろん、様々な施策を実施し、将来に向けた魅力あるまちづくりを進めています。今回ご紹介する取り組みをはじめとして、実行委員会を中心とした幅広い取り組みを展開していきます。ぜひご注目ください。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた武蔵野市実行委員会を設置しました **市民参加**

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた様々な取り組みを推進し、将来に活かすため、市民の皆様とともに実行委員会を設置しました。

- 名称 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた武蔵野市実行委員会」
※公式通称:東京2020大会等武蔵野市実行委員会
- 設置期間 平成29(2017)年5月～33(2021)年3月
- 構成 市・市教育委員会・市議会の他、市民活動団体、学校、企業、ホテル、輸送・交通関係、警察、消防、医療関係など、全79団体
- 実行委員会での取り組み(予定)
 - ・2019年、2020年の国際大会の開催に際して本市を訪れる外国人選手団や来街者をもてなす取り組み。
 - ・2020年東京大会を契機とした、まちの魅力や文化の発信、観光、外国人来街者への対応の充実など、まちのレガシーにつながる取り組み
 - ・市が実施する事業(「ホストタウン」「Sports for All」等)への協力
 - ・大会組織委員会による「東京2020参画プログラム」の積極的活用 など

Sports for All イベントを開催しています **スポーツ**

当市では、誰もがスポーツに参加できる環境づくりを目指して、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けたイベント名を「Sports for All」としました。子どもたちをはじめとして、市民の皆様の心に残る魅力的な体験の機会を提供しています。

これまで実施したSports for All イベント			
平成28年	5月8日	Sports for All ラグビー	平成29年
	6月26日	Sports for All シンボジウム	
	9月19日	Sports for All カヌー	
	9月25日	Sports for All パレーボール	
	10月10日	Sports for All 水球	
	12月25日	Sports for All サッカー	
	3月5日	Sports for All パラリンピック競技体験	
	5月21日	Sports for All ラグビー	

今後実施予定のSports for All イベント	
9月18日(月・祝)	Sports for All カヌー
10月9日(月・祝)	Sports for All 水球
10月14日(土)～20日(金)	Sports for All 写真展(仮称)
平成30年2月25日(日)	種目未定



Sports for All カヌー



Sports for All 水球

「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」開催しました **機運醸成**

5月6日(土) 吉祥寺駅北口ロータリー野外特設ステージにおいて、「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」を開催しました。

セレモニーでは、フラッグを引き継ぐアンバサダーとして大林素子さん(パレーボール)の他、武蔵野市にゆかりのある東京2020大会を目指すアスリートとして、加藤美優さん(卓球)と坂本梨歩さん(水球)にご参加いただき、大会に向けた抱負や熱いメッセージをいただきました。

来場者に配られた万国旗とともに会場全体がフラッグの到着を歓迎し、武蔵野市でもオリンピック・パラリンピックムードを感じる一日となりました。

フラッグは、セレモニー終了後「吉祥寺駅 はなびの広場」にて5月12日(金)まで展示しました。



フラッグ歓迎セレモニー



フラッグ展示

ホストタウン事業 **交流**

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、ルーマニアのホストタウンとしての各種事業を行います。

● プラショフ・フィルハーモニー交響楽団の招聘
11月23日(祝) 午後2時開演/武蔵野市民文化会館大ホール/7月下旬販売予定/ルーマニア・プラショフ市と武蔵野市の交流25周年を記念し、ルーマニアよりプラショフ・フィルハーモニー交響楽団を招聘し、コンサートを開催します。また、このコンサートに合わせて結成した「武蔵野市友好と平和の第九合唱団」により、交流のきっかけとなった曾我大介氏指揮のもと第九を歌います/☎交流事業課 ☎60-1806

● ルーマニア「日本武蔵野センター」の学生がやってきます
8月14日(月)～9月4日(月)/武蔵野市役所表敬訪問、市内大学訪問、日本文化体験等/プラショフ市民の会と共同でルーマニア・プラショフ市にある「日本武蔵野センター」の学生2名を武蔵野市に招待します。来日中はホームステイでの宿泊を予定しています。簡単な日本語でのやりとりが可能です。ご興味のある方は交流事業課までご連絡ください
「日本武蔵野センター」から来る2名



● ルーマニアホストタウンのロゴ&キャラクター(第一弾)を作成しました
ホストタウンのロゴとキャラクターを作成しました。これらのロゴやキャラクターを使用して、PRグッズを作成(ポスターは3部作です)し、PR活動を展開しています



● ルーマニアパラリンピアン等応援募金のお願い
市民の皆様からの募金をお願いし、東京2020パラリンピック競技大会に向け、ルーマニアのパラリンピアンやルーマニアの若者を武蔵野市に呼びたいと考えています。皆様のご協力をお願いします。募金額によりルーマニアホストタウングッズをプレゼントします/募金先:武蔵野市役所西棟7階交流事業課内武蔵野市ホストタウン実行委員会 ☎60-1806 ※現金のみの受付

全ての市立小・中学校でオリンピック・パラリンピック教育を推進しています

教育

全ての市立小・中学校で、オリンピック・パラリンピック教育の取り組みを進めています。

平成28年4月より都内すべての公立学校において、オリンピック・パラリンピック教育を実施しています。武蔵野市においても各学校において東京都教育委員会が示す「オリンピック・パラリンピック教育」における5つの資質（ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、伝統・文化理解、国際理解）を育成する取り組みを展開しています。

学校によって様々な取り組みを行っており、例えば、障害者理解について、パラリンピック選手との交流や、実際にパラリンピック種目を体験することなどを通して理解を深める取り組みを行っている学校があります。

また、国際理解について、世界の国々の様々な言語、文化、歴史などを学ぶ「世界ともだちプロジェクト」があります。武蔵野市は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会においてルーマニアのホストタウンに決定していることもあり、市内在住のルーマニアの方をゲストティーチャーとしてお迎えし、ルーマニアの生活や文化などについてお話していただくなどの取り組みを行っている学校もあります。

その他に、一流アスリートとの交流やボランティア活動の取り組みなど、各学校では創意工夫をしてオリンピック・パラリンピック教育を推進しています。

今後も、オリンピック・パラリンピック教育を推進する中で、思いやりの心や共生社会・国際社会への理解、スポーツに親しむ姿勢の育成を推進していきます。



パラリンピック選手との交流



世界ともだちプロジェクトの活動の様子



車椅子バスケットボールの体験

小・中学校でのラグビー & バレーボールの授業支援を行っています

教育・スポーツ

武蔵野市では子どもたちが体育の授業等を通じてスポーツを好きになり、体力・運動能力を向上していけるよう市内の小・中学校への支援を行っております。

◆ラグビー

◎ラグビーとは：ラグビーから「タックル」や「スクラム」といった接触プレーの要素を取り除き、児童でも安全に楽しく行うことができるように工夫されたゲームです。腰の両サイドにつけたベルト（タグ）を取られないように相手のゴールにボールを多く運んだチームが勝ちです。接触プレーがなく男女混合でもできるボールゲームです。

市内の7校で導入支援を行いました。球技が苦手な子どもでも、ボールを持って走るだけなので一定の運動量の確保ができると好評です。プレイに慣れてきたころに、「横河武蔵野アトラスターズの選手に挑戦しよう！」ということで、授業の中で現役の選手と実際に対戦するなどして子どもたちも大喜びでした。

平成28年度



ラグビー授業の様子

29年度

9校での導入支援を予定しています。横河武蔵野アトラスターズの選手にも引き続きご協力いただき、ラグビーを通じた子どもたちの体力向上を図っていきます。

◆バレーボール

北京オリンピックバレーボール女子日本代表の櫻井由香氏の協力により、市内の小・中学校（小学校7校、中学校3校）でバレーボール（または、ソフトバレーボール）の導入を支援します。バレーボールの指導に加えて、オリンピックである櫻井さん自身の経験をもとに、子どもたちにメッセージを届けてまいります。

武蔵野アール・ブリュット 2017

文化

障害のあるなしに関わらず、武蔵野市に関わりのある多くの人たちが出品・参加することで、アートを通して障害のある方などへの理解を深めるとともに、多様性を大切にする地域づくりを進める取り組みです。

●アール・ブリュットとは

「生（き）の芸術」と表され、既成の表現法にとらわれずに独自の手法と発想で制作された美術作品

●武蔵野アール・ブリュットの特徴

- ・市民協働によって作り上げるアート展
- ・武蔵野市に関わりのある人たちが出品・参加
- ・アートを通して障害理解を深め、多様性を大切にする地域づくりを推進

●開催期間及び会場

- ・7月7日（金）～10日（月）
- ・吉祥寺美術館のほか、吉祥寺周辺のアートギャラリーなど計4ヶ所で開催

●展示作品

- ・公募作品約120点のほか、武蔵野市出身の萩野トヨ氏の作品を展示

●その他催しもの

- ・記録映画「アール・ブリュットが生まれるところ」上映
- ・ワークショップや審査員等によるパネルディスカッションの開催 など

是非、観に来て下さい

武蔵野市の魅力再発見・発信事業

市民参加

市民ワークショップの開催や市内関係団体等との協力を通じて、市民とともに武蔵野市の強みや魅力、海外から見た武蔵野市の良さを再発見し、その魅力を国内・国外へ発信していく事業です。

●内容

- 1) 無作為抽出市民ワークショップの開催、大学生による外国人インタビュー、（一社）武蔵野市観光機構等との連携、中高生世代広場との意見交換等を通じて、外国人へ発信するための市の強みや魅力のキーワードを抽出する。【平成29年4月～9月頃】

- 2) 市の魅力を写した写真を公募する。【平成29年8月～11月】

- 3) 抽出したキーワードや公募した写真を活用し、動画やパンフレット等の広報媒体を日本語・英語にて作成する。【平成30年1月～9月】

- 4) 作成した広報媒体を効果的に発信する。【平成30年10月～】

●メインターゲット

- 1) 2019ラグビーワールドカップや2020東京大会などを機に、東京や日本に注目している外国人
- 2) 国（都）内に赴任している外国人
- 3) ホストタウン国や友好都市など、本市とつながりのある国の人々

とっておきの写真をご応募ください

ポッチャの国際交流大会を市内で実施します

スポーツ

リオデジャネイロパラリンピックで日本代表が銀メダルを獲得し、今、大注目の「ポッチャ」のジャパンパラ競技大会が、武蔵野市内で開催されます。

- 開催期間：平成29年11月18日（土）・19日（日）

- 会場：武蔵野総合体育館

* 詳細については、決定後に市報や市ホームページ、Facebookページ「武蔵野市 Sports for All 情報」などでお知らせいたします。

是非、観に来て下さい

運動習慣の定着化促進事業

スポーツ・健康

大会を契機に高まるスポーツの機運を活用し、スポーツを始めるきっかけづくりおよび継続するための環境を整えます。この取り組みを通じて、市民の皆様がいつまでも健康でいられる地域、活気ある元気な地域社会の推進へとつなげていきます。

●内容

平成29年度に運動習慣に関する調査を実施し、運動習慣が定着している市民の成功要因などを調査します。



公式フェイスブックページ「武蔵野市Sports for All情報」では、オリンピック・パラリンピック関連情報を随時投稿していますので、是非「いいね！」をよろしく願います！

